



2019年3月26日

各位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経営企画部長 鈴木 一夫
電話番号 03-5730-2641

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、2019年3月29日に提出を予定しております有価証券報告書におきまして、これまで記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は継続的な営業損失の発生及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上している状況にあることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該疑義を解消するため、当社は①自社既存プロジェクトの推進と事業基盤の拡大②資金の調達などの施策を進めてまいりましたが、事業基盤の拡大はプロジェクトの進捗状況に左右されるものであり、プロジェクトの中心であるHGF 遺伝子治療薬は製造販売承認申請中の段階であったことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるため「継続企業の前提に関する注記」を記載してまいりました。

この度、2019年3月26日に厚生労働省からHGF 遺伝子治療薬の条件及び期限付製造販売承認を得たことにより事業基盤を構築することができました。また、2018年12月期連結会計年度末において現金及び預金を57億84百万円保有しており財務状況も短期的には問題がないと考えております。

このような状況を総合的に検討した結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められなくなったと判断し、2019年3月29日提出予定の有価証券報告書において「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

また、2019年2月1日に開示いたしました、「2018年12月期決算短信[日本基準](連結) 1.経営成績等の概況 (5) 継続企業の前提に関する重要事象等」において「・・・現時点において継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在していると判断しております。」との記載を行っておりますが、2019年3月29日提出予定の「第20期有価証券報告書 第2【事業の状況】【事業等のリスク】継続企業の前提に関する重要事象等」において「・・・継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。」との記載を予定しております。

株主をはじめとする関係者の皆様にはご心配をおかけいたしました。当社はさらなる事業基盤の拡大と財務基盤の強化に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

以上